

京北地域公共交通に関する アンケート調査結果

京都市都市計画局歩くまち京都推進室

資料目次

1. 調査概要
2. 現在の移動手段について
3. 京北ふるさとバスについて
4. 新たな移動手段について
5. その他のご意見
6. (参考)個人属性等

1. 調査概要

①調査目的

- 京北地域において、利用者や運転士の減少により「京北ふるさとバス」の現状維持が困難になっている中で、今後の公共交通の在り方を検討するために、地域住民の意見やニーズを把握すること。

②調査概要

- 調査対象：右京区京北地域にお住まいの満18歳以上の方
- 配布方法：各世帯に調査票を2部配布(不足する場合は京北出張所にて追加配布)
- 回答方法：スマートフォン・パソコン等によるWeb回答、又は紙の調査票に記入のうえ、各自治会館又は京北出張所に提出
- 回収期間：令和7年8月7日(木)～8月29日(金)
- 回収件数：752件

③調査内容

問番号	質問項目
1 ご回答者様の基本情報	1-1.性別、1-2.年齢、1-3.職業、1-4.住居の地区名、 1-5.自動車運転免許証
2 現在の移動手段について	2-1.京北地域内の外出で、一番よく利用する交通手段 2-2.京北地域内の外出で、徒歩以外で月に1回以上利用する交通手段 2-3.「車(自分で運転)」の方に、車を利用する理由 2-4.外出目的
3 京北ふるさとバスについて	3-1.京北ふるさとバスの「お昼の時間帯」の運行見直し策
4 新たな移動手段について	4-1.デマンド交通の利用意向 4-2.利用意向で「利用しない」「分からぬ」とした理由 4-3.デマンド交通の運転者としての協力意向 4-4.デマンド交通の予約に必要な通信機器や利用可能な予約方法
5 その他のご意見	京北地域内の移動手段について、困りごとや、ご意見・ご要望等

京北地域公共交通に関するアンケート調査票

1 ご回答者様の基本情報
それぞれ1つずつ〇で選んでください。

1-1. 性別
①- [] 男性 ②- [] 女性 ③- [] 答えたくない 「右京区」シンボルマーク
(うちゃん・きょうちゃん)

1-2. 年齢: 年代ごと
①- [] 10代 ②- [] 20代 ③- [] 30代 ④- [] 40代 ⑤- [] 50代
⑥- [] 60代 ⑦- [] 70代 ⑧- [] 80代 ⑨- [] 90代以上

1-3. 職業
①- [] 学生 ②- [] 会社員 ③- [] 自営業 ④- [] パート
⑤- [] 福祉従事者 ⑥- [] 医療従事者 ⑦- [] 公務員 ⑧- [] 無職
⑨- [] その他 ()

1-4. 住居の地区名
①- [] 黒田 ②- [] 山国 ③- [] 周山 ④- [] 細野 ⑤- [] 弓削 ⑥- [] 宇津

1-5. 自動車運転免許証
①- [] 所有している ②- [] 所有していない

2 現在の移動手段について
ご回答者様の移動手段について教えてください。

2-1. 京北地域内の外出の際、一番よく利用するものを1つ〇で選んでください。

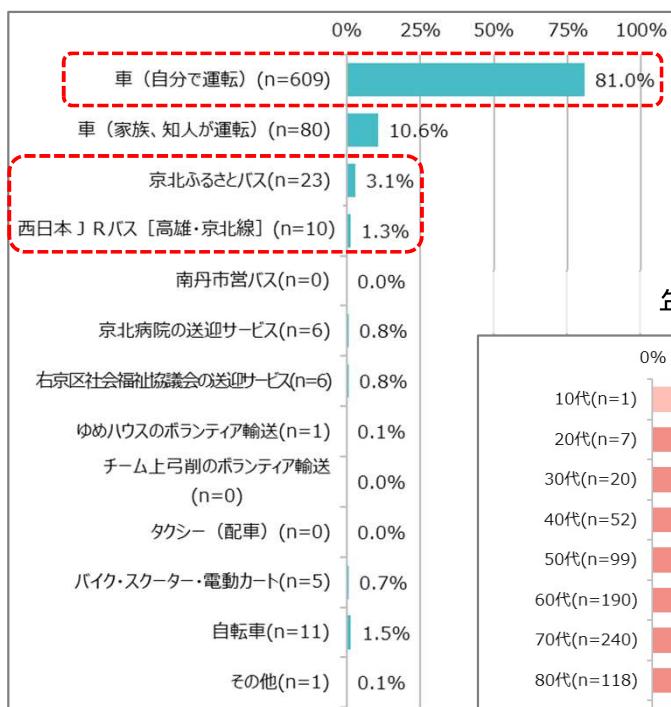
①- [] 車（自分で運転）	⑧- [] ゆめハウスの ボランティア輸送
②- [] 車（家族、知人が運転）	⑨- [] チーム上弓削の ボランティア輸送
③- [] 京北ふるさとバス	⑩- [] タクシー（配車）
④- [] 西日本JRバス 〔高雄・京北線〕	⑪- [] バイク・スクーター・ 電動カート
⑤- [] 南丹市営バス	⑫- [] 自転車
⑥- [] 京北病院の送迎サービス	⑬- [] その他 ()
⑦- [] 右京区社会福祉協議会の 送迎サービス	

2. 現在の移動手段について(利用交通手段)

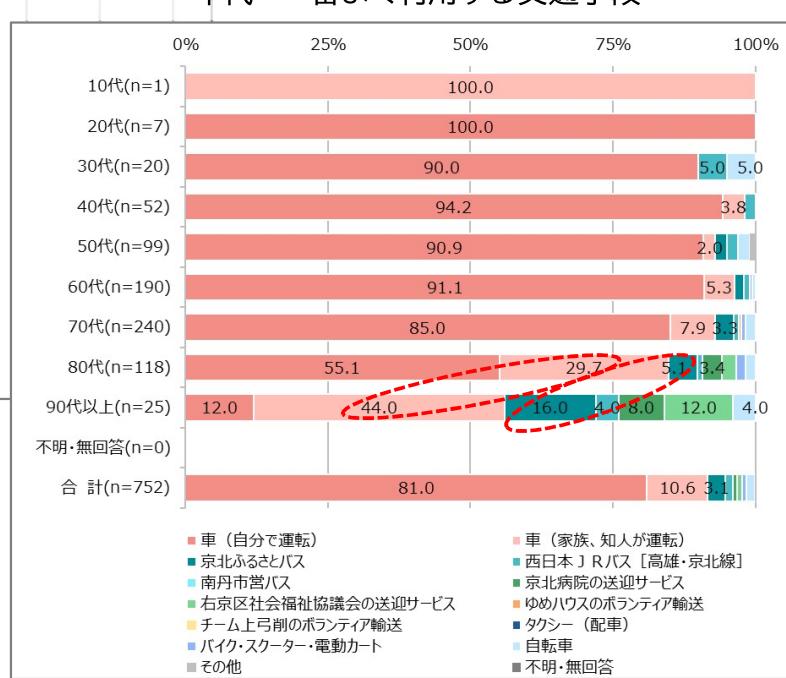
①利用交通手段

- 一番よく利用する交通手段は『車(自分が運転)』が約81%で、他の交通手段と比べて際立って高く、次いで『車(家族、知人が運転)』が約11%となっており、「京北ふるさとバス」は約3%、西日本JRバス[高雄・京北線]は約1%であった。
- 年代別では、80代以上は『車(自分が運転)』の利用率が低下し、『車(家族、知人が運転)』及び『京北ふるさとバス』の利用率が高まる。
- 徒步以外で月1回以上利用する交通手段も、車が最も多く、『京北ふるさとバス』と『西日本JRバス』が共に約8%、『京北病院の送迎サービス』が約6%、『右京区社会福祉協議会の送迎サービス』が約2%であった。

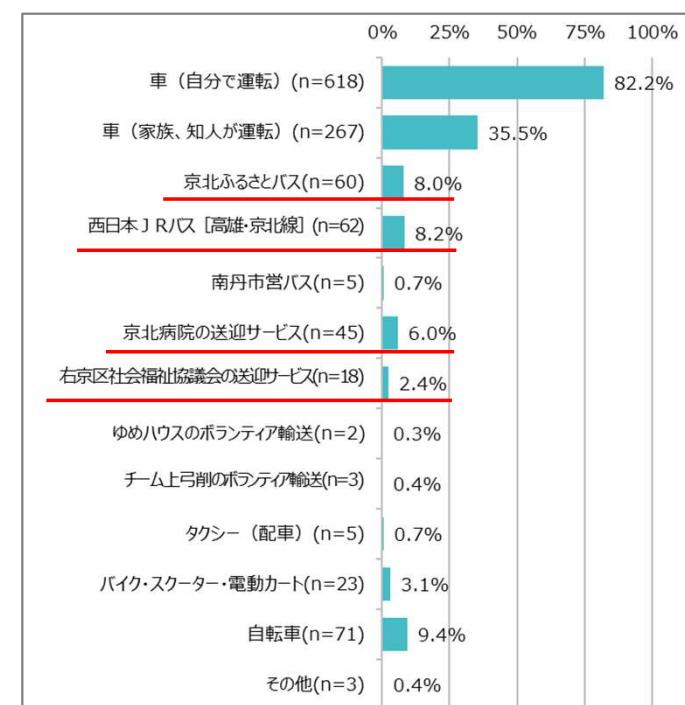
京北地域内の外出で、一番よく利用する交通手段



年代×一番よく利用する交通手段



京北地域内の外出で、徒步以外で月に1回以上利用する交通手段



2. 現在の交通手段について(車利用の理由、外出目的)

②「車(自分で運転)」利用の理由

- 『車(自分で運転)』の主な理由は、『目的地まで直接行きたい』が約64%で最も多く、次いで『バスの本数が少ない』が約44%であった。

③外出目的

- 『買い物』はどの年代も割合が高い。
- 『通勤・通学』は60代まで、『通院』は70代以上の割合が高い。

年代 × 「車(自分で運転)」の方の車を利用する理由

年齢:年代ごと / 【問2-1及び問2-2で「①-車(自分で運転)」と回答された方】車を利用する理由(複数回答)	ご自宅から最寄りのバス停までの距離が遠いから	希望する時間に来るバスがないから(運行本数が少ない)	目的地まで歩かずに車で直接行きたいから	ほかの人が運転する車には乗りたくないから	その他	不明・無回答
10代(n=1)	0	0	1	0	0	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=7)	2	3	4	0	1	0
	28.6	42.9	57.1	0.0	14.3	0.0
30代(n=19)	5	14	16	0	2	0
	26.3	73.7	84.2	0.0	10.5	0.0
40代(n=50)	13	26	26	2	9	1
	26.0	52.0	52.0	4.0	18.0	2.0
50代(n=92)	20	56	44	3	21	1
	21.7	60.9	47.8	3.3	22.8	1.1
60代(n=176)	24	70	115	7	32	7
	13.6	39.8	65.3	4.0	18.2	4.0
70代(n=204)	33	79	143	5	20	8
	16.2	38.7	70.1	2.5	9.8	3.9
80代(n=66)	13	21	42	6	13	4
	19.7	31.8	63.6	9.1	19.7	6.1
90代以上(n=3)	0	1	2	0	3	0
	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0	0.0
不明・無回答(n=0)	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計(n=618)	110	270	393	23	101	21
	17.8	43.7	63.6	3.7	16.3	3.4

年代 × 外出目的

年齢:年代ごと / 1週間の間で外出する目的(複数回答)	通勤・通学	通院	買い物	公共機関や金融機関での各種手続	仕事(用務先への訪問)	家族、知人宅への訪問	その他	不明・無回答
10代(n=1)	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=7)	5	0	6	1	3	2	0	0
	71.4	0.0	85.7	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0
30代(n=20)	17	2	17	10	13	11	2	0
	85.0	10.0	85.0	50.0	65.0	55.0	10.0	0.0
40代(n=52)	32	12	42	11	23	17	4	1
	61.5	23.1	80.8	21.2	44.2	32.7	7.7	1.9
50代(n=99)	68	19	76	23	35	31	5	1
	58.7	19.2	76.8	23.2	35.4	31.3	5.1	1.0
60代(n=190)	84	61	158	77	68	71	21	4
	44.2	32.1	83.2	40.5	35.8	37.4	11.1	2.1
70代(n=240)	27	123	200	101	54	94	34	4
	11.3	51.3	83.3	42.1	22.5	39.2	14.2	1.7
80代(n=118)	0	70	92	51	6	40	17	7
	0.0	59.3	78.0	43.2	5.1	33.9	14.4	5.9
90代以上(n=25)	0	14	15	8	0	3	4	2
	0.0	56.0	60.0	32.0	0.0	12.0	16.0	8.0
不明・無回答(n=0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計(n=752)	234	301	606	282	202	269	87	19
	31.1	40.0	80.6	37.5	26.9	35.8	11.6	2.5

3. 京北ふるさとバスについて

①「お昼の時間帯」の運行見直し策

- 運行見直し策としては、『フリー乗降区間の拡大』が約44%、『予約制の乗合タクシー運行』が約43%と高く、次いで『バス本数を減らす』が約26%、『地域ごとの運行日設定』が約19%であった。
- 交通手段別では、日頃から『地域公共交通』を利用する方も、約35%の方が『予約制の乗合タクシー運行』を選ばれた。

年代 × 京北ふるさとバスの「お昼の時間帯」の運行見直し策

年齢:年代ごと/「お昼の時間帯」の運行をどのように見直すのがよいか(複数回答)	バスの運行本数を減らす	地域ごとの運行日を決める	運行路線を見直す	決まった時刻・路線のバスは運行せずに、予約制で複数の方で乗り合うタクシーなどを運行させる	どこからでも自由に乗り降りできるフリー乗降区間を拡大する	その他	不明・無回答
10代(n=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代(n=7)	1 14.3	3 42.9	2 28.6	5 71.4	3 42.9	0 0.0	0 0.0
30代(n=20)	4 20.0	3 15.0	5 25.0	11 55.0	7 35.0	3 15.0	0 0.0
40代(n=52)	19 36.5	9 17.3	6 11.5	26 50.0	18 34.6	6 11.5	0 0.0
50代(n=99)	24 24.2	9 9.1	14 14.1	55 55.6	51 51.5	11 11.1	0 0.0
60代(n=190)	54 28.4	34 17.9	21 11.1	95 50.0	94 49.5	18 9.5	8 4.2
70代(n=240)	70 29.2	44 18.3	28 11.7	93 38.8	106 44.2	23 9.6	19 7.9
80代(n=118)	20 16.9	32 27.1	14 11.9	32 27.1	48 40.7	13 11.0	21 17.8
90代以上(n=25)	4 16.0	7 28.0	3 12.0	4 16.0	4 16.0	3 12.0	6 24.0
不明・無回答(n=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計(n=752)	196 26.1	141 18.8	93 12.4	322 42.8	331 44.0	77 10.2	54 7.2

利用交通手段※ ×
京北ふるさとバスの「お昼の時間帯」の運行見直し策

利用交通手段/「お昼の時間帯」の運行をどのように見直すのがよいか(複数回答)	バスの運行本数を減らす	地域ごとの運行日を決める	運行路線を見直す	決まった時刻・路線のバスは運行せずに、予約制で複数の方で乗り合うタクシーなどを運行させる	どこからでも自由に乗り降りできるフリー乗降区間を拡大する	その他	不明・無回答
車(自分で運転)(n=558)	147 26.3	95 17.0	63 11.3	259 46.4	267 47.8	57 10.2	28 5.0
車(家族、知人が運転)(n=55)	15 27.3	11 20.0	5 9.1	16 29.1	15 27.3	4 7.3	8 14.5
地域公共交通(n=131)	30 22.9	33 25.2	24 18.3	46 35.1	46 35.1	16 12.2	17 13.0
その他(n=8)	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5
不明・無回答(n=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計(n=752)	196 26.1	141 18.8	93 12.4	322 42.8	331 44.0	77 10.2	54 7.2

※問2-1、問2-2の回答から以下の方法により利用交通手段を4種類に分類

- 問2-1、問2-2のいずれかで「③京北ふるさとバス～⑩タクシー(配車)」を回答した場合は『地域公共交通』に分類、「⑪バイク・スクーター・電動カート～⑬その他』を回答した場合は『その他』に分類、それ以外は『車(自分で運転)』または『車(家族、知人が運転)』に分類

<問2-1、問2-2の交通手段選択肢>

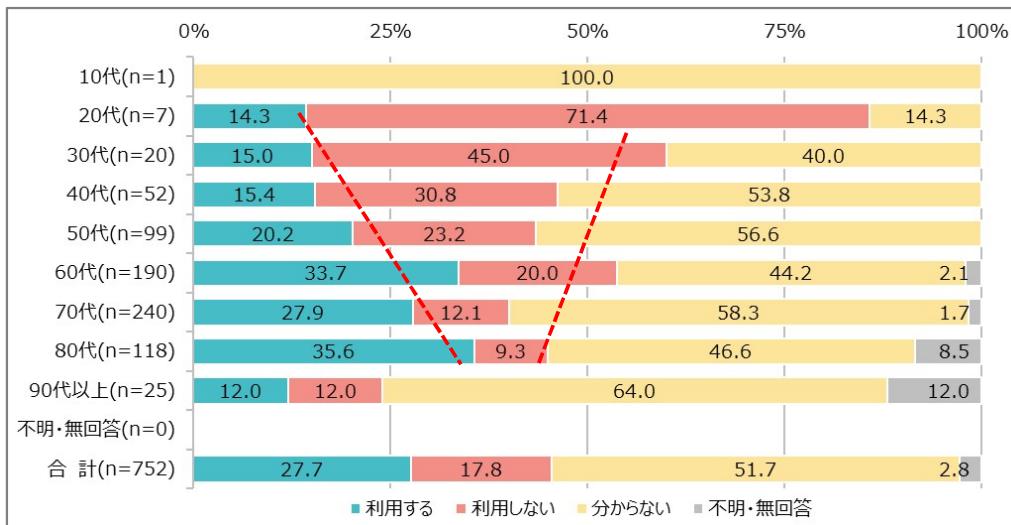
- | | |
|--------------------|------------------|
| ①車(自分で運転) | ⑧ゆめハウスのボランティア輸送 |
| ②車(家族、知人が運転) | ⑨チーム上弓削のボランティア輸送 |
| ③京北ふるさとバス | ⑩タクシー(配車) |
| ④西日本JRバス[高雄・京北線] | ⑪バイク・スクーター・電動カート |
| ⑤南丹市営バス | ⑫自転車 |
| ⑥京北病院の送迎サービス | ⑬その他 |
| ⑦右京区社会福祉協議会の送迎サービス | |

4. 新たな移動手段について(デマンド交通の利用意向)

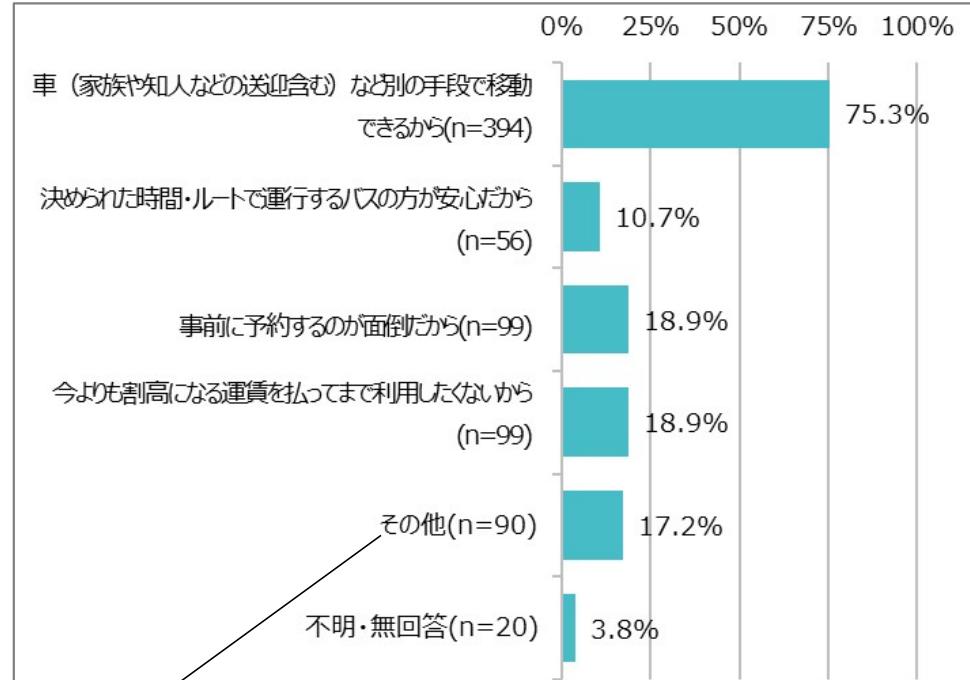
①デマンド交通の利用意向

- 全体では、『利用する』が約28%、『利用しない』が約18%、『分からない』が約52%であった。
- 年代別では、若い世代ほど『利用しない』が多く、60代以上では『利用する』の割合が高い。
- デマンド交通を『利用しない』又は『分からない』と回答された方の理由は、『車など別の手段で移動できるから』が約75%であった。
- 交通手段別では、『車』を利用する方も3割程度が、デマンド交通を『利用する』と回答。

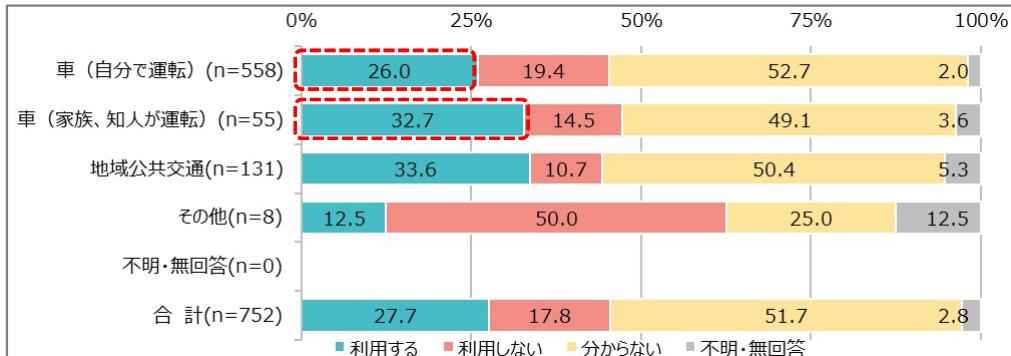
年代 × デマンド交通の利用意向



デマンド交通「利用しない」「分からない」の理由



利用交通手段※ × デマンド交通の利用意向



「運転できなくなったら利用するが、今は利用しない」(28件)
 「現時点では分からない」(11件)
 「利便性に難がある」(11件)
 「予約制が不便」(8件)
 「利用の仕方が分からない」(5件)
 「料金が不安」(2件)

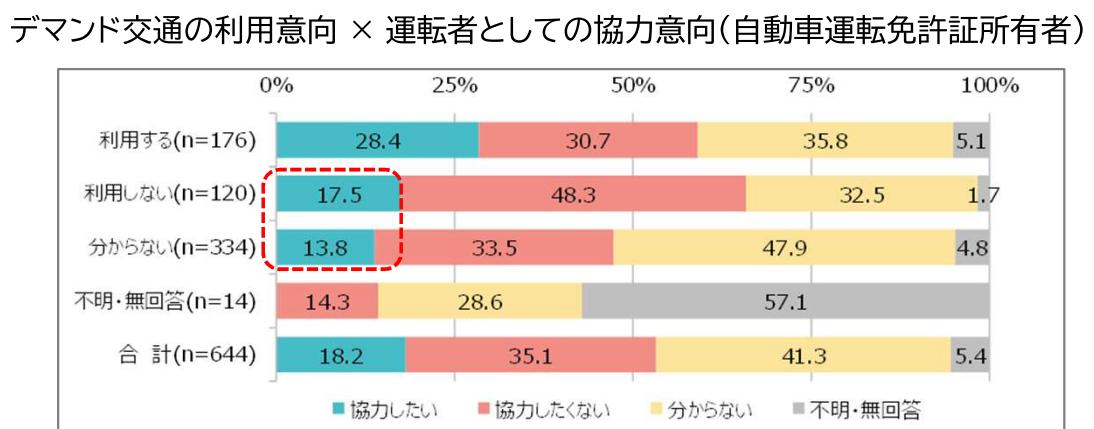
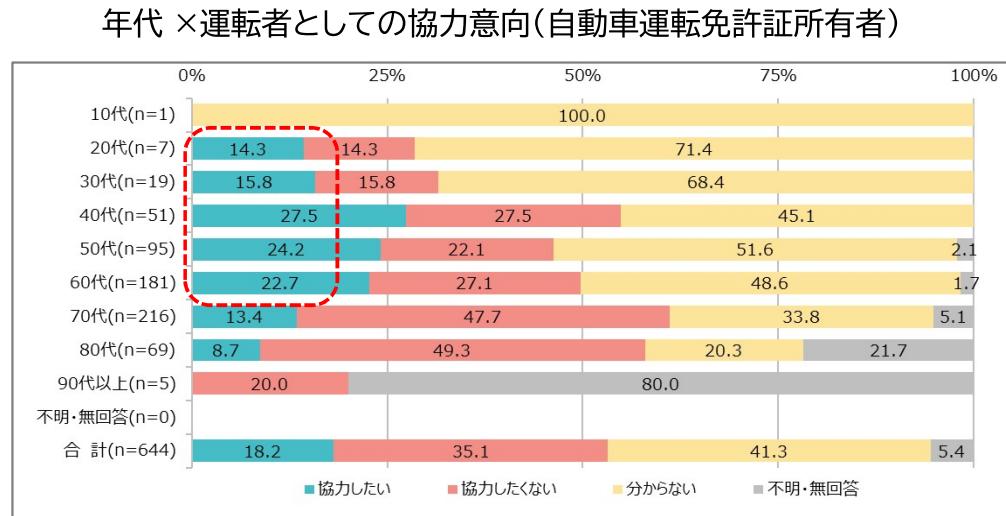
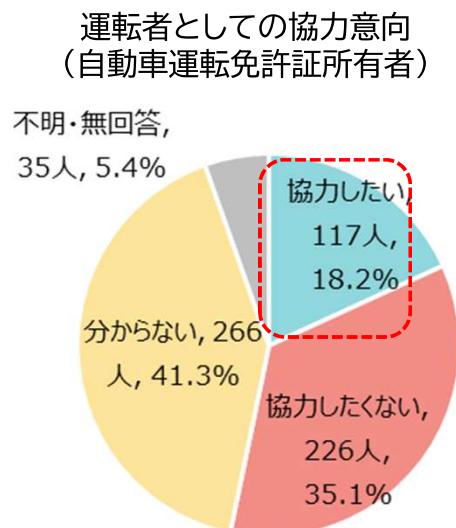
など

※問2-1、問2-2より利用交通手段を4種類に分類

4. 新たな移動手段について(運転者としての協力意向)

②運転者としての協力意向(自動車運転免許証所有者)

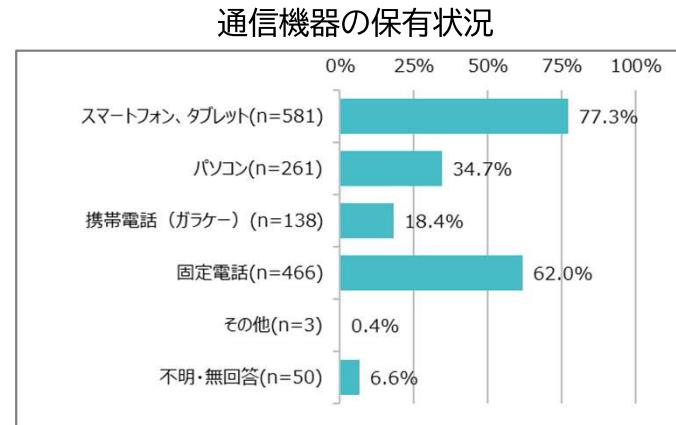
- 『協力したい』と回答された方は117人(約18%)であった。
- 年代別では60代以下の方で、82人(約13%)の協力意向があった。
- デマンド交通を『利用しない』、『分からぬ』と回答された方も、『協力したい』と回答された割合が一定数ある。



4. 新たな移動手段について(通信機器の保有状況・利用可能な予約方法)

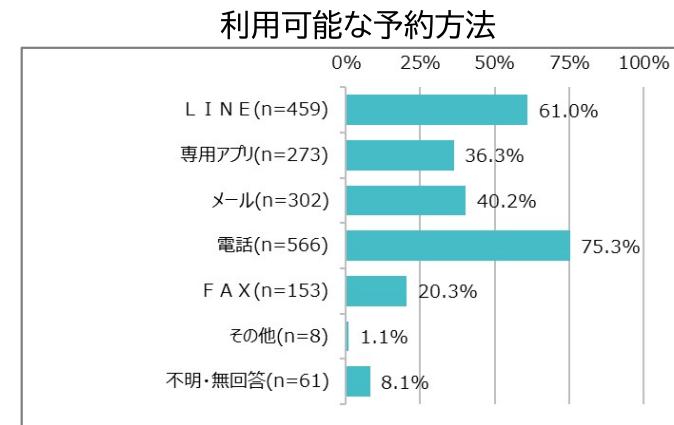
③通信機器の保有状況

- 全体では『スマートフォン・タブレット』が8割程度となっており、「固定電話」を上回っている。
- 年代別にみると、80代以上で『固定電話』の割合が最も高くなるが、80代も約4割の方が『スマートフォン・タブレット』を保有されている。



④利用可能な予約方法

- 『電話』が最も多く、次いで『LINE』、『メール』、『専用アプリ』と続く。
- 『LINE』、『専用アプリ』、『メール』は高齢になるほど利用率が下がる。
- どの年代も『電話』以外では『LINE』の利用率が最も多く、80代も約26%の方が『LINE』を利用している。



年代 × 通信機器の保有状況

年齢:年代ごと/お持ちの通信機器（複数回答）	スマートフォン、タブレット	パソコン	携帯電話（ガラケー）	固定電話	その他	不明・無回答
10代(n=1)	1	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=7)	7	4	2	2	0	0
	100.0	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0
30代(n=20)	20	15	3	7	0	0
	100.0	75.0	15.0	35.0	0.0	0.0
40代(n=52)	52	32	4	17	0	0
	100.0	61.5	7.7	32.7	0.0	0.0
50代(n=99)	95	52	19	63	0	0
	96.0	52.5	19.2	63.6	0.0	0.0
60代(n=190)	178	81	20	139	1	4
	93.7	42.6	10.5	73.2	0.5	2.1
70代(n=240)	180	61	45	157	0	13
	75.0	25.4	18.8	65.4	0.0	5.4
80代(n=118)	45	15	40	71	2	21
	38.1	12.7	33.9	60.2	1.7	17.8
90代以上(n=25)	3	0	4	10	0	12
	12.0	0.0	16.0	40.0	0.0	48.0
不明・無回答(n=0)	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計(n=752)	581	261	138	466	3	50
	77.3	34.7	18.4	62.0	0.4	6.6

年代 × 利用可能な予約方法

年齢:年代ごと/利用可能な予約方法（複数回答）	LINE	専用アプリ	メール	電話	FAX	その他	不明・無回答
10代(n=1)	1	1	1	1	1	0	0
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
20代(n=7)	7	4	4	5	2	0	0
	100.0	57.1	57.1	71.4	28.6	0.0	0.0
30代(n=20)	19	13	12	18	4	0	0
	95.0	65.0	60.0	90.0	20.0	0.0	0.0
40代(n=52)	44	38	28	34	6	0	1
	84.6	73.1	53.8	65.4	11.5	0.0	1.9
50代(n=99)	82	65	56	84	32	0	2
	82.8	65.7	56.6	84.8	32.3	0.0	2.0
60代(n=190)	140	93	100	138	48	3	5
	73.7	48.9	52.6	72.6	25.3	1.6	2.6
70代(n=240)	134	50	80	190	41	1	15
	55.8	20.8	33.3	79.2	17.1	0.4	6.3
80代(n=118)	31	9	21	83	18	3	27
	26.3	7.6	17.8	70.3	15.3	2.5	22.9
90代以上(n=25)	1	0	0	13	1	1	11
	4.0	0.0	0.0	52.0	4.0	4.0	44.0
不明・無回答(n=0)	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計(n=752)	459	273	302	566	153	8	61
	61.0	36.3	40.2	75.3	20.3	1.1	8.1

5. その他のご意見(移動手段に関する困りごと、ご意見・ご要望など)

- 回収752人のうち、京北地域内の移動手段に関する困りごと・ご意見・ご要望は335人(全体の約45%)から延べ542件寄せられた。それらの意見をまとめると次のとおり。

1. 高齢者・免許返納後の移動への不安(182件)

- 将来、車の運転ができなくなることが不安。
- 免許返納後の移動手段が心配。
- 高齢者や身体が不自由な方等への送迎サービスが必要。

2. デマンド交通等新たな移動手段への期待(166件)

- 自宅近くから目的地まで送迎してくれる乗り物がほしい。
- 予約型の乗合タクシー(デマンド交通)があれば利用したい。
- 将来の自動運転車両(システム)等の導入を期待する。

3. 既存の公共交通等の維持・改善(78件)

- 京北ふるさとバスの運行を維持してもらいたい。
- 利用者が少ない時間帯の京北ふるさとバスは、運行本数を見直し、事前予約制とするなど効率化すべき。
- 京北ふるさとバスは、小型バスやワゴン車に切り替えて運行してはどうか。
- 京北と京都駅や南丹市を結ぶ路線は維持してもらいたい。
- 京北ふるさとバスと西日本JRバスの接続時間を改善してもらいたい。
- バス停を新たに設置してもらいたい。
- 病院や社協、ボランティア輸送等の送迎サービスを充実してもらいたい。

4. 運賃や財政的支援等に対する意見・要望(49件)

- 京都市の補助金等により、利用しやすい料金設定にしてもらいたい。
- 行政の財政負担で、病院や買い物などへの移動手段を確保してもらいたい。
- 多少運賃が高くなっても構わないので、便利な交通サービスを導入してもらいたい。

5. 観光・地域活性化に必要な移動手段の確保(18件)

- 観光やレジャーなどで来られる方の移動も考慮すべき。
- 将来の京北地域での移動手段は、過疎対策とともに検討することが必要。

6. 子どもの送迎の負担軽減(8件)

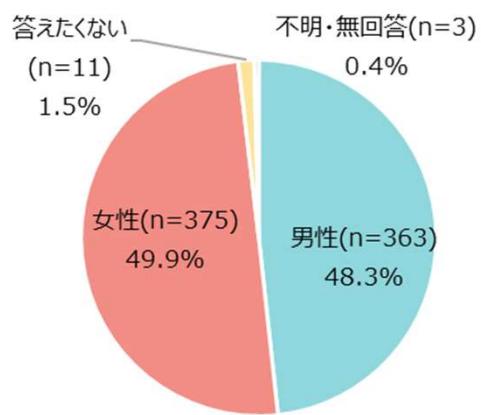
- 子どもの送迎への負担が減るような仕組みがほしい。
- 保育所が統合された場合、送迎に負担が生じることを懸念。

7. その他

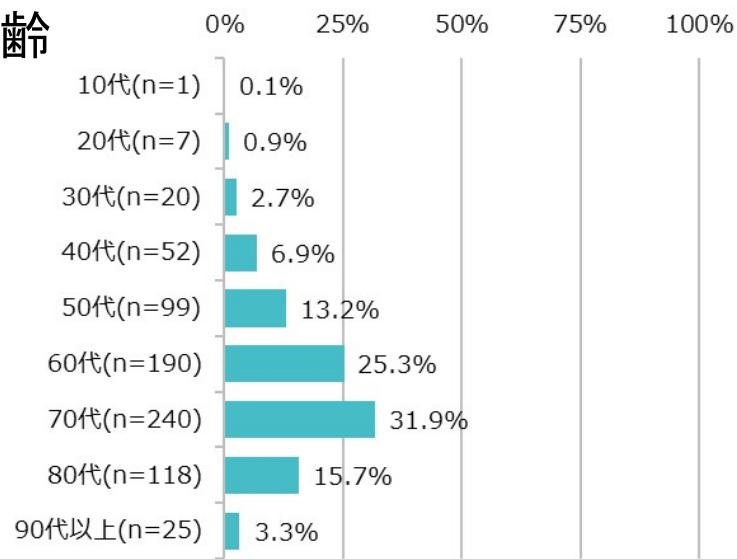
- このようなアンケートを通じて、住民の意見を聞くことは重要。
- 人手不足なので、運転いただく方の確保が大変かと思う。
- 周山駅の近くに駐車場や駐輪場があれば助かる。

(参考)個人属性等

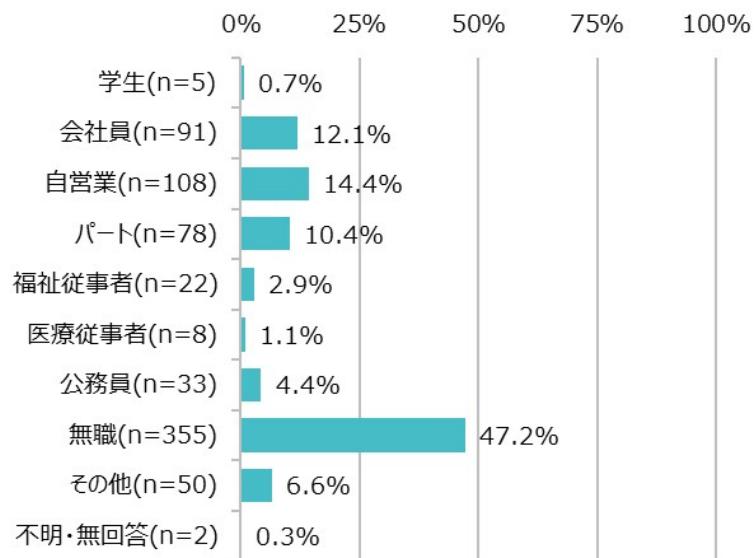
①性別



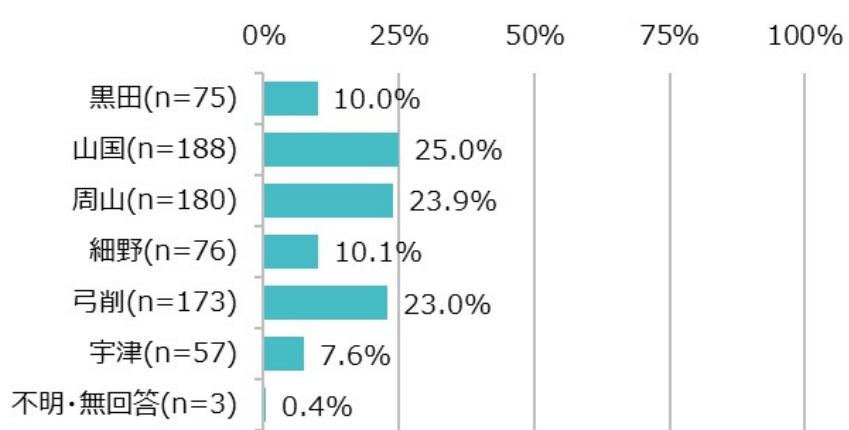
②年齢



③職業



④住居の地区名



(参考)個人属性等

⑤自動車運転免許証

